



第1回の電話相談員養成基礎研修会にて(秋吉)

土井●今回の地震の犠牲者がどのくらいになるか想像もつきませんが、恐らく何万人単位になるでしょう。それに匹敵するであろうおおよそ3万人以上の方が、久間会長の言葉を借りれば「自死を選んで」いるんです。しかも毎年ですよ。だからこそ、全曹書が電話相談に取り組むのには、大変な価値があります。自死のことを、私は個人的に「本能不全だ」と言っています。命のあるものはすべて本能的に生きようとするんですよ。JMASが活動するカンボジアやアンゴラは、人間の生活条件としては決して恵まれていませんが、日本と比べて自死率は格段に低い。では、何で本能不全に陥るのか。冒頭で日本人の素晴らしさに触れましたが、逆に足りないところもいくつかあるんです。特に、生死に関する教育が足りません。「なんで自死しちゃいけないの？俺の命は俺のもの」という質問をする若者がいると聞きますが、私は「とんでもない！命はあなたのもの

ではない、作られているんだ！3000円の顕微鏡でも買って、自分の精子なり卵子なりを見てみるっ！」と反論したい。30代の頃の私も「自分で何でもできる」と思い上がってましたが、顕微鏡の中で「生存競争」を生き抜こうとごめく自分の精子を見て「これは自分の命ではない」と気付けられたんです。命は自分とは別の意思によって作られている。それを私は「AKINAN(アキナン)」と言って言っているんですけれど……。

——「AKINAN」？何語ですか？

土井●私の造語です。ローマ字で逆から読むと「何か(NANIKKA)」。それを神や仏って呼ぶと宗教的に差異も生まれてきますから、私は「AKINAN」と呼ぶことにしています。「AKINAN」とは本能のこともあるんです。すべては「AKINAN」の思召し。それに逆らうことを、私は不全だと看做しています。また、価値の多様性を言い訳にして、「善いこととは何か」を教えることも足りていません。今の日本人は「悪いこと」は列挙できても、「善いこと」はなかなか言えないんです。結論から言うと、生きることそのもの、そして生き尽くして死ぬことが「善」なんです。

國森●自分もそう思いますね。生き尽くしたら死ぬ。それを次代に見せることが大事だし、それこそが「命のリレー」だと思っんです。そういう連鎖やつながりを、自分だけの恣意で断つてはいけません。昨年、政情不安が続くア



フリカのウガンダで孤児の支援活動をしているNPO法人から声がかかって、ウガンダに取材に行ったのですが、その時に、引きこもりと不登校で、自死もかけた日本の中学生が母親と一緒に来ていたんです。1〜2週間の滞在でしたが、その子はウガンダの孤児との触れ合いの中から、彼らがエイズやマラリアや栄養失調で、明日にも死ぬかもしれない現実を自分の肌で感じて涙した。同時に自分も蚊に刺されるとマラリアに罹るかもしれない。そんな経験をして帰国してからは、「死ぬ」と言わなくなりました。不全だった本

能を取り戻し始めるきっかけになったのだと思います。

——今の日本での生活習慣に、本能不全を引き起こす一因があったのでしょうか？

國森●そう思います。でも自殺志願の日本人が全員ウガンダに行くわけにもいきません。身近な死や誕生を自分で見て感じる経験が大事だと思うのですが、およそこの50年の間、日本の社会ではそういう経験ができないようになっていたのではないのでしょうか。

土井●要するに、今は生老病死の自覚をなるべく遠ざけようとしている社会になつてきているんですよ。子どもの頃から、画一とも清潔とも言い切れない、この世の多様性を見せつけなければいけません。葬儀もそうですが、人間が誕生する場面、もしくは病人や認知症のおじいちゃんやおばあちゃんの生き様を見せつけなきゃ。

秋吉●今こそ、社会全体の人々にとつて「四門出遊」が必要なんでしょうね。

プロフィール

土井義尚

1942(昭和17)年、山梨県生まれ。甲府市自衛院住職。65年、防衛大学校機械工学科卒業後、陸上自衛隊に入隊。防衛駐在官(スウェーデン)、武器学校長、技術開発官(陸)、補給統制本部長などを歴任。99年に退官して、同年大本山永平寺に上山。送行後、01年9月に「日本地雷処理を支援する会」の設立し、理事長に就任。現在は、08年に開設されたアンゴラ事務所の現地代表兼地雷処理専門家。

「認定特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会」(JMAS)

自衛隊OBが中心となって01年に任意団体として設立され、02年5月には特定非営利活動法人の認可を受け、同年7月からカンボジアでの不発弾処理の活動を開始。カンボジア以外にもラオス、アフガニスタン、パキスタン、アンゴラでも地雷・不発弾の処理を行ない、11年2月までに約30万発の処理実績がある。JMASのロゴには、地球、砲弾とともに合掌が図案化されている。



■東京事務所

〒162-0845
東京都新宿区市谷本村町3-18 エムズビル5階
電話：03-5228-7820 FAX：03-5228-7821
E-mail：jmas-hp@jmas-ngo.jp
URL：http://jmas-ngo.jp

國森康弘 プロフィールは23頁参照

秋吉龍成

全国曹洞宗青年会基幹事業委員長。鹿児島県曹洞宗青年会所属。鹿児島県出水市・龍光寺副住職。